

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ ご存知ですか？
「どくしょ甲子園」

「どくしょ甲子園」は高校生を対象とした取組で、2010年の国民読書年を記念して、朝日新聞社の主催で始められました。第3回からは朝日新聞社と公益財団法人「全国学校図書館協議会」の共催で実施されています。

(右の写真は平成26年度の

「どくしょ甲子園」で最優秀賞を受賞した、明治大学付属明治高校 古和田チームの受賞作品：朝日新聞「どくしょ応援団」のホームページ内、「どくしょ甲子園」のサイトから転載：掲載承諾番号 A16-2425 無断転載は禁止されていますのでご注意ください。)



「どくしょ甲子園」の競技要領

1冊の本をもとに、高校生が4人程度のグループで読書会を開き、その成果を引用文や感想、イラスト等を交えて1枚の画用紙(A3版)に「どくしょボード」(上の写真)として表現し、その出来を競うものです。「どくしょボード」には、読書会で取り上げた本の面白さ、読書会の楽しさを表現しますが、書名・作者名・出版社名の他に(1)本を薦めるキャッチコピー、(2)印象に残った本文の引用、(3)「私たちが見つけたこの本の魅力」(400～600字)で構成します。また、オリジナルのイラストや写真など、ビジュアル面の工夫も奨励されています。

全国学校図書館協議会との共催について

「『1冊の本を真ん中に話し合うことは、読みを深めるだけでなく、他者の物の考え方や感じ方を知り、違うことを許容し、取り入れ、楽しみながら議論を深めていく、まさに、社会人としての将来に求められるコミュニケーション能力を育むツールとして最適』という趣旨のもとで開催されていた同コンクールに、かねてより集団読書の重要性を唱え、その普及を行っていた全国学校図書館協議会が賛同し、共催の形で行われるようになりました。」(以上、全国学校図書館協議会のホームページ：コンクール・募集「どくしょ甲子園」のサイトより)

高校生が対象ということから「甲子園」という名称がつけられたのかもしれませんが、やり方を工夫すると、中学生にも可能な「共読」の一つの方法にもなるのではないのでしょうか。

(注) 第6回以降の「どくしょ甲子園」の事業継続については現在未定です。

□ Hello! 学校図書館 ～ 福岡市立下山門中学校 編 ～

(1) 全体の雰囲気

下山門中学校の学校図書館は1階正面玄関の右側に位置しています。本市の多くの学校に比べ、東西の幅がゆったりしており、据え置き型の書架が余裕をもって5つ並んでいます。

(写真①)

本を紹介する情報が、書架や壁のいたる所に掲示・展示してあります。日本十進分類表に基づく分類番号の掲示が、壁面や天井の梁のスペースを活用して貼ってあります。



①学校図書館の全景（入口から奥を臨む）

(2) 読書への誘いの工夫

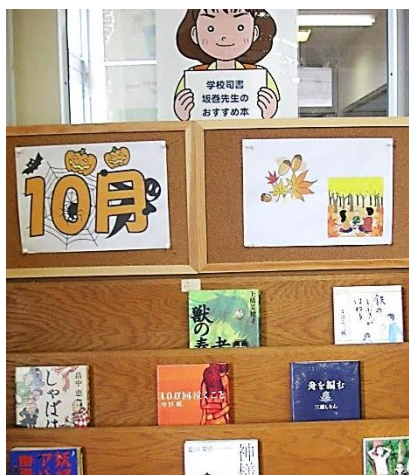
入口を入ってすぐ左側がカウンターです。カウンター横にも書架（写真②）があり、そこにはさきほど紹介した「どくしょ甲子園」の入賞校の紹介記事とその関連本が置かれています。また、その書架の前には文化専門委員によるおすすめ本のコーナー（写真③）が設けてあります。



②カウンター横の書架（上に「どくしょ甲子園」の紹介）



③文化専門委員のコーナー



④学校司書のおすすめ本

入口右側には「学校司書のおすすめ本」のコーナー（写真④）が、読書机の上には先生方のおすすめ本（写真⑤）が、先生自身による紹介の札（写真⑥）を添えて置いてあるなど、館内のあちこちで本の紹介がなされ、読書に誘ってくれます。



⑤先生方のおすすめ本のコーナーと



⑥先生による本の紹介札

(3) 学校生活と直結したコーナーや特色ある特設コーナーの設置

生徒の学校生活に直結した本のコーナーも設けてあります。写真⑦は「学業応援コーナー」、英語検定や漢字検定に向けた本などが置いてあります。写真⑧は「部活応援コーナー」、運動部・文化部双方の部活動に役立ちそうな雑誌や単行本などが並べてあります。写真⑨「人権」の特設コーナー。学校を訪問した時期はちょうど人権週間中でしたが、時宜に合わせた内容をそのつど設定して、展示しているコーナーだそうです。



(4) 表示に関する工夫

(ア) POP・帯の活用

いたるところにPOPが掲示されています。写真⑩は新刊コーナー、写真⑪は文学の書棚に貼られたPOPの例です。



写真⑫は本の帯をPOP的に掲示しているものです。新刊書の紹介に帯を活用する例はよく見かけますが、POP的に活用するのも良いアイデアです。

(イ) 図書館マップの工夫とわずかのスペースを活用した本の紹介コーナー

各書架には図書館マップが貼られています。しかも、この書架がマップのどれに該当するのか、色をつけて表示してあります。(写真⑬)さらに、書架の前にもおすすめ本の紹介コーナーが設けてあります。ここでもPOPが活用されています。また、貸出中の場合は、貸出中の札が置いてあります。この書架前にある特製の棚は用務員さんの作成によるものです。(写真⑭)



□ 平成 27 年度に文科省が行った「子どもの読書に関する実態調査」から

文部科学省は平成 27 年度に委託調査として行った「地域における読書活動推進のための体制整備に関する調査研究」の結果報告書を公開しています。

調査対象となったのは全国から選出された 4 つの県内にある 12 の市区町村です。

この調査は次の 2 つのことを主な目的で実施されました。

- (1) 小学生、中学生、高校生の読書の実態や不読の背景・理由等を把握し、課題を明確にするとともに、不読解消のための方策等について検討すること
- (2) 各自治体で実施されている子供たちの読書推進に関する取組のうち、地方公共団体、学校、図書館、民間団体、ボランティア等の連携・協力により実施されている取組について、その連携・協力手法等に注目して調査・分析を行い、特徴等を明らかにすること

調査事項は多岐に渡るのですが、ここでは、「子どもの読書習慣と学校における読書活動と学校図書館の環境との関係」の調査結果について、上記の報告書に記された内容から、その一部を紹介します。

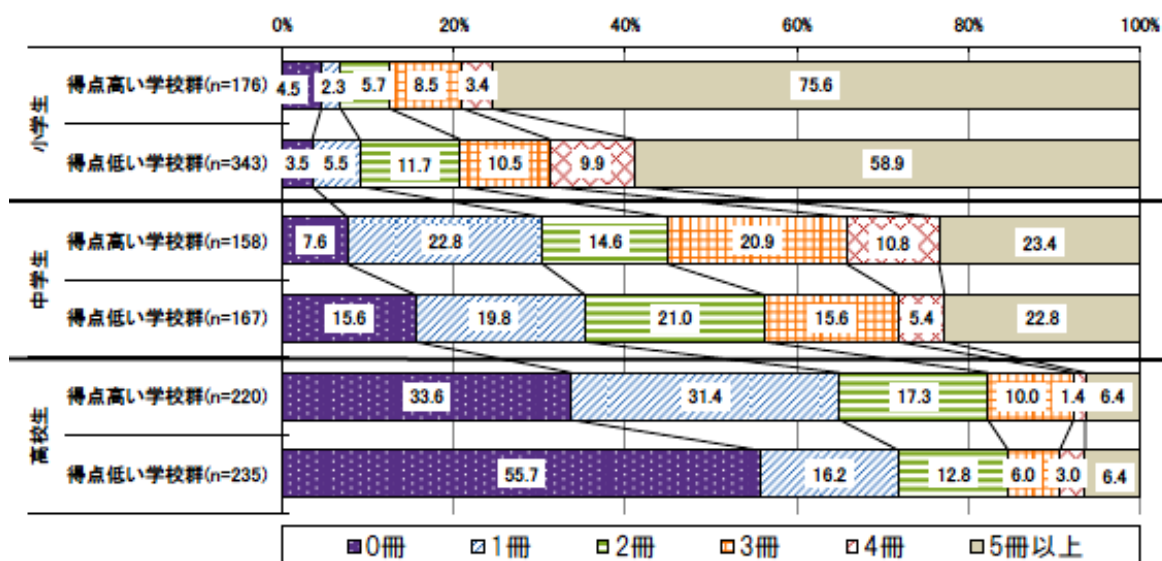
なお、対象学年は小学校 5 年生（840 名）、中学校 2 年生（540 名）、高校 2 年生（540 名）です。



「第 3 章－ 1 子供の読書習慣等に影響する諸要素に関する分析」から

- 1 児童・生徒の読書量と一斉読書の時間など、読書に関する学校の活動状況との関係
 - ・児童・生徒の認識として、学校が一斉読書の時間など、読書に関する活動に力を入れていると思うかについて、肯定的な回答の得点が相対的に高い学校群と、低い学校群とで分類し、児童・生徒の読書習慣等との関連性について分析した。

○一斉読書の時間など、読書に関する活動状況と最近 1 か月で読んだ本の冊数との関係



○一斉読書の時間など、読書に関する活動状況と児童・生徒の読書量等との関係

着目した点	小学生		中学生		高校生	
	得点高	得点低	得点高	得点低	得点高	得点低
この1か月に読んだ本が「0冊」の割合（不読率）	4.5%	3.5%	7.6%	15.6%	33.6%	55.7%
普段学校がある日に読書を「全くしない」割合	5.7%	6.6%	4.4%	13.7%	32.3%	75.4%
学校がない休みの日に読書を「全くしない」割合	23.8%	28.0%	38.0%	41.3%	60.7%	53.8%
読書が「あまり好きではない」「好きではない」の合計割合	19.3%	26.0%	23.6%	35.2%	38.9%	30.3%

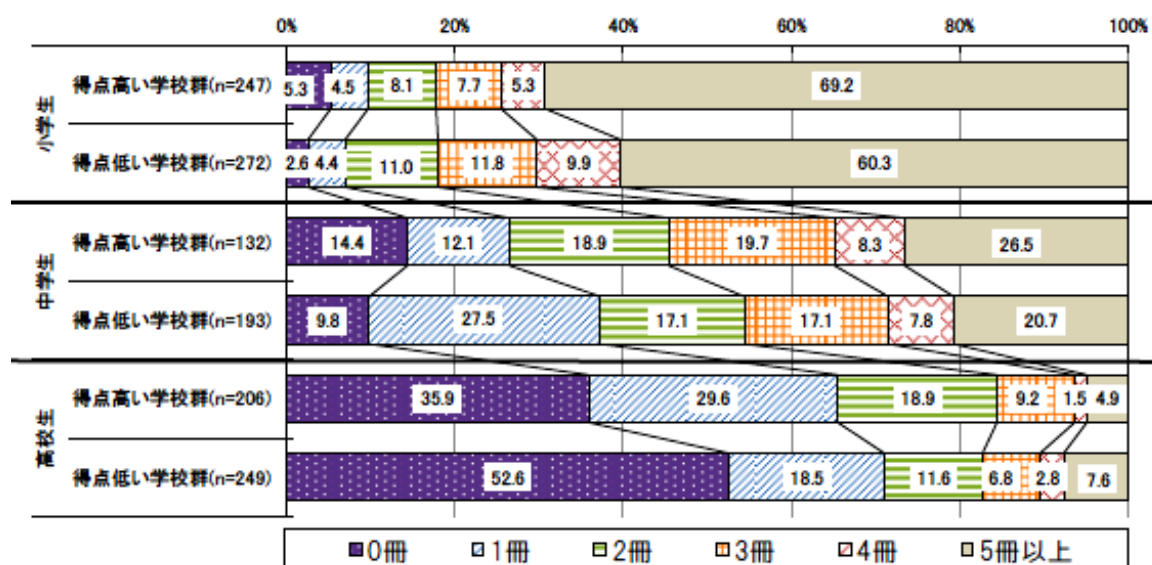
*【読み取れること・ポイント】

- 読書に関する活動に力が入れている学校では、その成果として児童・生徒の読書冊数が多く、また、不読率が低いという関連性が見られる可能性がある。
- 高校生に関しては、不読率について20ポイント以上の差が見られる。

2 充実した学校図書館であるかとの関係

- ・児童・生徒の認識として、学校図書館について「使いやすい」または「読みたい本がある」と回答された割合が相対的に高い学校群と、相対的に低い学校群とで分類し、児童・生徒の読書習慣等との関連性について分析した。

○充実した学校図書館であるかと最近1か月で読んだ本の冊数との関係



*【読み取れること・ポイント】

- 学校図書館が充実していることは、小学生や中学生に関しては不読率という点ではなく、読書の量（冊数）と関連している可能性がある。
- 高校生に関しては、不読率について15ポイント以上の差が見られる。

この調査報告書の全内容は次のアドレスからご覧いただけます。

子ども読書の情報館

<http://www.kodomodokusyo.go.jp/happyou/datas.html>



□ 福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（1月～2月）

福岡アジア美術館

「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」

♪ 1月後半から2月の日程です。

（1 月）22日（日），24日（火）

（2 月）12日（日），14日（火），26日（日）
28日（火）

（時 間）11：30～12：00

13：00～13：30（1日2回）

（会 場）7階「キッズコーナー」（事前の申し込みは不要です。）



福岡市総合図書館

「おはなし会」

♪ 1月後半から2月の日程です。

（1 月）28日（土），29日（日）

（2 月）4日（土），5日（日），11日（土），12日（日）
18日（土），19日（日），25日（土），26日（日）

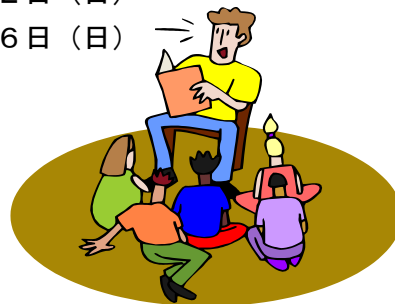
♪ 時間と場所

土曜日：14：30～（幼児向け）

日曜日：14：30～（幼児向け）

15：15～（幼児～小学生向け）

場 所：「こども図書館 おはなしの家」



♪ こども図書館 1・2月の展示テーマは「やってみよう つくってみよう」です。

□ 図書館員のひみつの本棚 《No.129》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが紹介して下さるこのコーナー，
今月は特に多くの子どもたちに読んで欲しい内容の物語です。

☆ 今月の「図書館員のひみつの本棚」の本：

『火のくつと風のサンダル』

ウルズラ・ウェルフェル／作 関 楠生／訳

童話館出版 1997年 1512円



📎 添付ファイルをご覧ください。

□ 図書館歳時記 (1月下旬～2月)

* 1・2月にゆかりの作家の本を読んでみませんか

✿ 郷土に関わりの深い作家が多い1月と2月！

下の表には3名の福岡県と関わりの深い文学者がいます。北原 白秋、壇 一雄はすぐお気づきになられると思います。さて、あとの1名にお気づきでしょうか。それは、児童文学者の与田準一です。与田は現在のみやま市瀬高町に生まれ、筑後市で小学校の先生をしながら、同郷の北原白秋に師事し、その後、児童文学者として大成しました。門下には、まど みちおをはじめ、岩崎京子、あまんきみこらがいます。

「福岡市子どもと本の日」通信 No. 118 の図書館員のひみつの本棚<No. 105>で紹介しました「まりーちゃんとひつじ」を翻訳したのも与田準一です。

✿ 1月・2月の文学関係者たち

♪ 1月・2月生まれの主な文学関係者

1月25日	北原 白秋(1885)	2月 8日	ジュール・ヴェルヌ(1828)
1月27日	リス・キャロル(1832)	2月15日	松谷みよ子(1926)
2月 3日	壇 一雄(1912)	2月17日	島崎 藤村(1872)
2月 4日	東野 圭吾(1958)	2月20日	志賀 直哉(1883)
2月 7日	チャールズ・ディケンズ(1812)	2月20日	石川 啄木(1886)
2月 7日	ロー・インガルス(1867)	2月22日	高浜 虚子(1874)

♪ 1月・2月に亡くなった主な文学関係者

1月28日	A. リット・グリーン(2002)	2月 3日	与田 準一(1997)
1月29日	井上 靖(1991)	2月10日	ロー・インガルス(1957)
		2月28日	松谷みよ子(2015)

♪ あとがきにかえて *****

皆様にはさわやかなお気持ちでお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。
さて、学校が冬休みの間、子どもたちが読書にいそしむ姿が見られたでしょうか。また、ご家族で共読を楽しむ機会を持たれることがございましたでしょうか。ひとりでも多くの子供もが、より一層本と親しむようになることを願うものです。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課

電 話： 092-711-4655 FAX：092-733-5538

